

第四九回岩手県支部新年俳句会成績

日時 令和七年二月二十二日(土)

会場 ホテルメトロポリタン盛岡

【佐怒賀 直美選】

特選 四句

赫炎の鐵打つ響き寒の入

盛岡市 木関 偕楽

星降るや抱く児をらぬ雪女

盛岡市 篠村恵美子

屋敷竹しならせ煤を払ひけり

奥州市 宍戸 田良

岩手山の裾野に古りて雪を搔く

八幡平市 円子 涼子

入選 十五句

綿虫と舞ふや関山能舞台

盛岡市 木関 偕楽

寒鴉ひなたの水を選びて飲む

盛岡市 八重樫美佳

薄れゆく手術の痕や冬至風呂

盛岡市 村井 好子

重さうに上がる遮断機寒波来る

盛岡市 大信田宏子

垂直に眠る神杉冬銀河

奥州市 大石 文雄

いぐねからこぼるる灯冬の夕

滝沢市 高橋千衣子

奥能登の塩の甘さや若菜粥

盛岡市 兼平 玲子

枅酒に張力満つる淑気かな

盛岡市 齋藤 雅博

雪を搔く日の出のひかり受けながら

八幡平市 円子 涼子

午後二時の電車の揺らぎ日脚伸ぶ

盛岡市 江戸 雪子

曲家より藁をしきたる恵方道

盛岡市 澤口 航悠

ロールシャツハ・テストめく蜜冬りんご

花巻市 大平 春子

目覚めよき稚の這ひ出す初座敷

盛岡市 瀧澤マツノ

皺の指かさなる方言かるたかな

金ヶ崎町 佐藤 嘉子

白息を噛み白息にタツクルす

盛岡市 吉田 茂樹

【白濱 一 羊選】

特選 三句

天 重さうに上がる遮断機寒波来る
地 産院に向かふ途中の出初式
人 凍つる夜や星座を組まぬ星の黙

入選 七句

荒星や水平ならざる棒秤
年の瀬の町昼飯は竹輪パン
凧のとぐる巻きをる交差点
粕汁やさびしさびしと平らげる
絵双六さいころ失せてノーサイド
大仏をくすぐるやうに煤払
眼差しは君子のごとし冬の蠅

【小畑 柚 流選】

特選 三句

天 年明けるえたいの知れぬ世なれども
地 新巻のまだ泳ぐかに身のうねり
人 綿虫と舞ふや関山能舞台

入選 七句

老いてこそやんちゃに生きん去年今年
屋敷神拝む二人に初茜
初御籤小吉ぐらいが丁度よし
大仏をくすぐるやうに煤払
人日や人恋しくて長電話
恙無く老いて二人の干菜風呂
思ふままゆくがよろしと初神籤

盛岡市 大信田宏子
盛岡市 榊原 康二
盛岡市 兼平 玲子

一関市 小山 尚宏

盛岡市 篠村恵美子

盛岡市 八重樫美佳

盛岡市 村井 康典

盛岡市 村木 軍六

盛岡市 津志田 武

花卷市 大平 春子

釜石市 菊池 義一

盛岡市 村井 康典

盛岡市 木関 偕楽

盛岡市 菅原けんいち

矢巾町 大平 スイ

北上市 小笠原志保子

盛岡市 津志田 武

盛岡市 中村 紀子

花卷市 上野 節子

滝沢市 三角 尚子

【小林輝子選】

特選 三句

天 暗がりの薯の芽搔きや春隣
地 綿虫と舞ふや関山能舞台
人 旅立ちし詩人のことば読初に

入選 七句

夫に問ふ私はだあれ十二月
次々と鳥のより来る冬泉
年用意母の月日の備忘録
初日の出雑木林は真珠色
曲家より藁をしきたる恵方道
眼差しは君子のごとし冬の蠅
白息を噛み白息にタツクルす

【馬場吉彦選】

特選 三句

天 ロールシャツハ・テストめく蜜冬りんご
地 綿虫と舞ふや関山能舞台
人 見せ消^けちの奥の細道読始

入選 七句

お手植ゑの県木へ撒く寒ごやし
雪原のホリゾントのやう暮れはじめ
寛解とペン書きのあり年賀状
花好きの母亡き生家冬椿
山眠る懐深く父祖の墓
恙無く老いて二人の干菜風呂
断層のしるき空谷冬紅葉

一関市 小山 尚宏
盛岡市 木関 偕楽
一関市 沖田 誠子

北上市 片方みち子
北上市 深澤 洋子
奥州市 郡司 山吹
盛岡市 吉田由紀子
盛岡市 澤口 航悠
花卷市 大平 春子
盛岡市 吉田 茂樹

花卷市 大平 春子
盛岡市 木関 偕楽
紫波町 三縄美和子

八幡平市 佐々木一夫
盛岡市 安達 広子
花卷市 川村 健
盛岡市 永澤千恵子
花卷市 上野 節子
花卷市 上野 節子
平泉町 岩淵 洋子

【澤口航悠選】

特選 三句

天 大白鳥飛び立つ湖の風を抱き
地 前髪の杉の葉にほふ雪だるま
人 凍つる夜や星座を組まぬ星の黙

入選 七句

暗がりの薯の芽搔きや春隣
身籠りて一番甘き蜜柑買ふ
寒鴉ひなたの水を選びて飲む
ほんのりと花麩の紅や雑煮椀
年用意母の月日の備忘録
どん底に生きるかたちの海鼠かな
目覚めよき稚の這ひ出す初座敷

【及川永心選】

特選 三句

天 宮大工手掛けし宿の初湯かな
地 身籠りて一番甘き蜜柑買ふ
人 初稽古全員負かす女の子

入選 七句

星降るや抱く児をらぬ雪女
大白鳥飛び立つ湖の風を抱き
初明り夫の寝息と五十年
我が膝に重くなる猫冬ぬくし
恙無く老いて二人の干菜風呂
曲家より藁をしきたる恵方道
初旅や白檀の香の駅を発つ

盛岡市 二階堂光江
盛岡市 安達 広子
盛岡市 兼平 玲子

一関市 小山 尚宏
盛岡市 工藤 幸子
盛岡市 八重樫美佳
奥州市 郡司 山吹
盛岡市 津志田 武
盛岡市 瀧澤マツノ

盛岡市 伊藤 文明
盛岡市 工藤 幸子
盛岡市 榊原 康二

盛岡市 篠村恵美子
盛岡市 二階堂光江
盛岡市 永澤千恵子
奥州市 村上眞理子
花巻市 上野 節子
盛岡市 澤口 航悠
平泉町 岩淵 洋子

【二階堂 光 江選】

特選 三句

天	奥能登の塩の甘さや若菜粥	盛岡市	兼平 玲子
地	鈴の音のきれいな破魔矢子にもたす	盛岡市	澤口 航悠
人	どん底に生きるかたちの海鼠かな	盛岡市	津志田 武

入選 七句

身籠りて一番甘き蜜柑買ふ	盛岡市	工藤 幸子
川底に冬のざりがに透きてをり	北上市	深澤 洋子
前髪の杉の葉にほふ雪だるま	盛岡市	安達 広子
屋敷竹しならせ煤を払ひけり	奥州市	宍戸 田良
雪もよひ真神の山の昏き杜	盛岡市	大原 宏司
初茜一度は消えしまちなれど	奥州市	伊藤さとる
目覚めよき稚の這ひ出す初座敷	盛岡市	瀧澤マツノ